

| | | | |
|--------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 後期 | 1年 | 2単位 | 必修 |
| 担当教員 | | | |
| 吉田 美恵子 | | | |
| | | | |

| | |
|------|---|
| 講義概要 | <p>①保育計画必要性の理解 こどもの観かた 記録を取る意義について学ぶ</p> <p>②教育・保育課程の変遷を知る 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育計画の位置づけを理解</p> <p>③教育・保育課程の構成の理解 長期・短期の指導計画の関連性を修得する</p> <p>④こどもの発達を理解する 指導案立案をする</p> <p>⑤指導計画の見直しや考察をする 自己評価をする 計画の改善・再構成をする</p> |
| 授業計画 | <p>1回 保育計画の必要性</p> <p>保育計画の基本となる柱を踏まえた計画を考える上で、計画通りに保育を実践する場合と無計画に保育を実践する場合のメリット・デメリットを考察する</p> <p>学習課題 復習： 予習：シラバスの内容を読んでおく事</p> <p>2回 こどもの観かた</p> <p>計画はこどもの姿を捉える所から始まるので、子どもの発達段階を確認していく</p> <p>学習課題 復習： プリントによる復讐 予習： 保育所保育指針の子どもの発達について把握する</p> <p>3回 教育課程・保育課程の変遷</p> <p>子どもを取り巻く環境の変化の中で、どのように教育・保育課程が変わっていったのかを学ぶ</p> <p>学習課題 復習： 子どもの発達段階の理解 予習： 教科書教育・保育課程の変遷を熟読</p> <p>4回 保育計画の位置づけ</p> <p>子どもの実態と保育者の願いの交点に位置付くもの</p> <p>学習課題 復習： 教育・保育課程の歴史的変遷の流れを確認 予習： 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育計画の位置づけ</p> <p>5回 部分実習指導案作成</p> <p>グループワークにより、幼稚園の生活を考え、部分実習指導案立案作成をする</p> <p>学習課題 復習： 保育計画に必要なねらいや内容を考える 予習： 年齢にあった手遊びや保育教材を探索</p> <p>6回 部分実習指導案作成</p> <p>グループワークにより、幼稚園の生活を考え、部分実習指導案立案作成をする</p> <p>学習課題 復習： 保育計画に必要なねらいや内容を考える 予習： 年齢にあった手遊びや保育教材を探索</p> <p>7回 模擬保育</p> <p>グループで作成した指導案をもとに模擬保育を実践して反省・改善をディスカッションする</p> <p>学習課題 復習： 部分指導案立案の考察 予習： 模擬保育にむけての役割や準備の確認を行う</p> <p>8回 指導計画案の検証</p> <p>実践と計画のずれを検証し、自己評価をする</p> <p>学習課題 復習： 模擬保育の反省事項を記録しておく 予習： 自己評価の評価項目をチェックしておく</p> <p>9回 様々な保育計画の関連性</p> <p>長期・短期の保育計画の関連性を理解する 様々な保育形態に対応した保育の計画について学ぶ</p> <p>学習課題 復習： 自己課題を考える 予習： 様々な保育形態について調べておく</p> <p>?回 活動のねらい、活動設定理由について</p> |

| | |
|--------------------|--|
| | <p>主な活動を選び、活動に対するねらいや設定理由について考え、記入の仕方を知る</p> <p>学習課題 復習：「園生活の流れを考慮した保育活動を考える」 予習：保育の課題設定と活動による育ちを予測する</p> <p>11回 導入から主な活動への展開</p> <p>子どもたちが意欲をもって主な活動へ移行できる導入の工夫について考え、指導案に記入する</p> <p>学習課題 復習：主な活動、活動のねらい、課題設定理由を見直す 予習：導入の工夫</p> <p>12回 保育の展開における予測される幼児の活動、保育者の援助、環境構成を時系列に記入する</p> <p>幼児・保育者・環境の構成を保育の流れに沿って詳しく記入していく方法を学ぶ</p> <p>学習課題 復習：導入の他の方法も考えてみる 予習：時間と子どもの姿、保育者の動きをイメージしてみる</p> <p>13回 全日保育指導案立案</p> <p>保育の流れをイメージして設定活動の内容を考え記入する</p> <p>学習課題 復習：部分保育の内容に沿って実践をイメージする 予習：部分保育前後の保育の流れを考える</p> <p>14回 全日保育指導案立案</p> <p>子どもが意欲的に活動し、ねらいを達成するための保育の工夫と今後の展開が表現されている指導案立案に向けて</p> <p>学習課題 復習：指導計画の中に、こどもの生活全体のスムーズな流れ・こどもの主体性が表現されているかを見直す 予習：前回までの内容を指導案に適切に記入しておく</p> <p>15回 保育のPDCAサイクル</p> <p>チェックリスト・評価の意義と再構成 評価と保育指導計画の改善 学習課題 復習：指導計画の見直しと授業の総まとめ 予習：チェックリストの活用</p> |
| 授業形態 | 講義 |
| 評価の観点、評価手段・方法、評価比率 | <p>①保育所・幼稚園・認定こども園における保育計画の意義を理解する</p> <p>②教育課程・保育課程の変遷を知る</p> <p>③教育課程・保育課程の編成の基本を理解する</p> <p>④こどもの発達に即した指導計画の立案をする</p> <p>⑤評価の意義・方法を知り、評価の視点を修得する</p> |
| 教科書・参考書 | <p>テキスト 『保育の計画と方法』 岸井勇雄・無籐隆・柴崎正行 監修 2013. 4 第三版 同文書院</p> <p>参考書 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領</p> |
| 履修条件 | |
| 履修上の注意 | 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 の参考書は毎回持参する事 |
| オフィスアワー | 他授業・業務以外は随時対応する。 |
| 備考・メッセージ | レポート・保育計画指導案などは指定の期日を守って提出する事 |